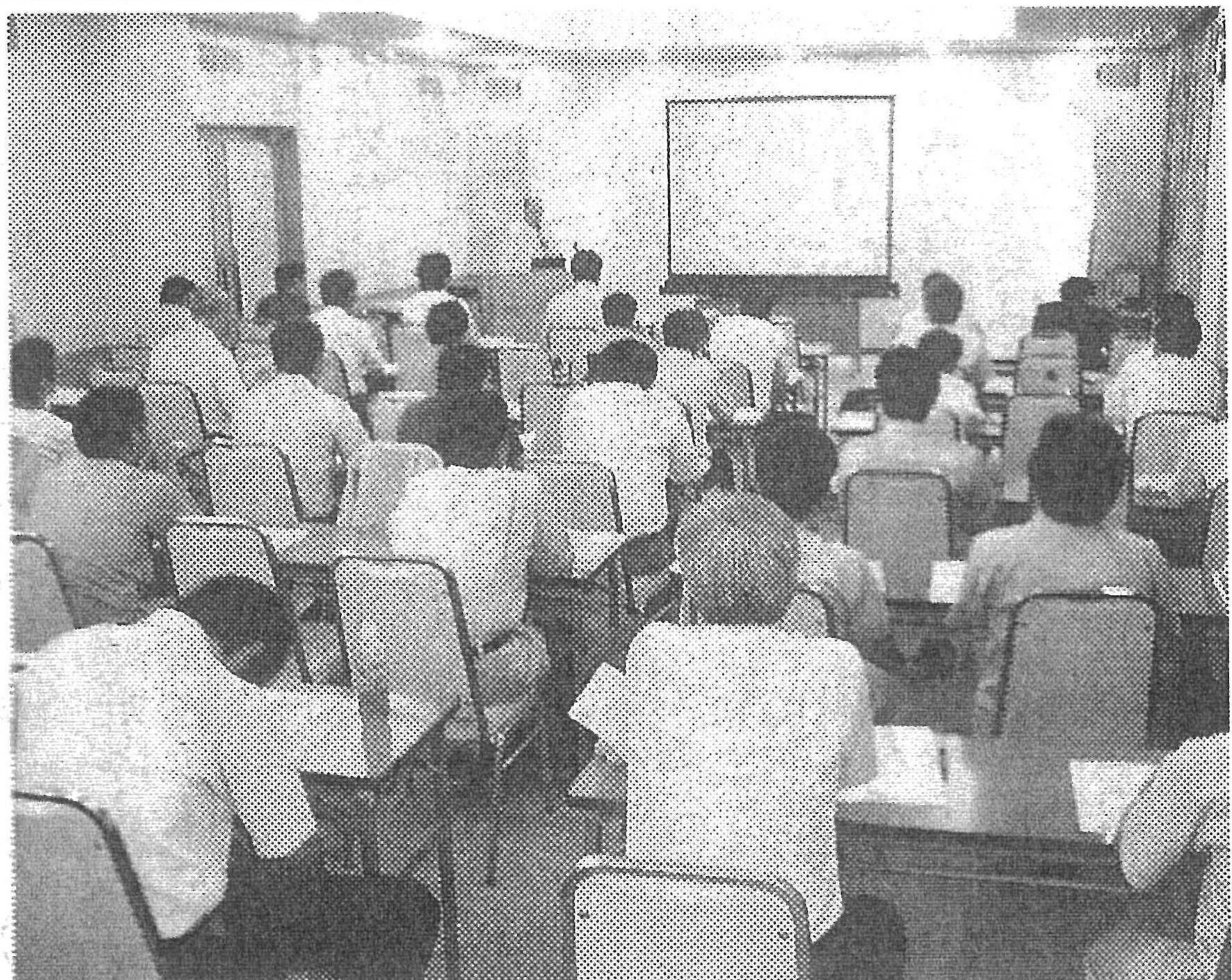


最先端の技術を学ぶ

補修工法に関する研修会

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は16日、県職員会館で「補修工法に関する研修会」を開き、ひび割れ注入工法や亞硝酸リチウムによる補修工法について学んだ。

研修会には会員約50人が参加。冒頭、石川会長が「診断技術と同じように補修技術も日進月歩。最先端の技術を学び有意義な時間にしてほしい」とあいさつ。続いて電気化学工業の宮口克一氏がひび割れ注入工法、日産化學工業の須藤裕司氏、ASRリチウム工法協会の江良和徳氏が亞硝酸リチウムによる補修工法について講演した。



約50人が参加した研修会

構造物の劣化要因である
△塩害△中性化△凍害△
アルカリ骨材反応△下水
処理施設などの化学的腐
食について概説。自社

製品である断面修復工法
やアクリル樹脂系補修材
によるひび割れ注入工法
について、その特徴を説

明した。さらに硫酸に耐
性のある下水道向け工法
や、電気化学処理を応用
も紹介。参加者たちは最

した再アルカリ化工法や
鉄筋の腐食防止工法など
も紹介。参加者たちは最

新の補修工法について理
解を深めようと熱心に耳
を傾けていた。